

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	23	職員の視点で利用者の思いや心の中のごたわりなど推察していたが、本当に、本人の思いが汲み取れていたのか疑問に感じている。	利用者の本意を知り、その人なりの満足した日々を過ごして頂けるよう支援する。	利用者の発言やその時々表情から職員が感じた事を話し合う場面を作り、共通の認識として理解し、利用者の本位に添った援助の基本となる。	6ヶ月
2	33	重度化や終末期の対応について、介護職がすべき支援について知識や実務に不安がある。	本人や家族の希望に添えるよう知識等習得し、医療との連携に応じられるよう力量を習得し、医療との連携に応じられる力量を備えた体制を作り上げる。	医療看護職に具体的な指導を受ける機会を作り、職員の重度化・終末期への対応に対する不安を解消する。	12ヶ月
3	49	日常的に外出はできているが、できることなら外出先で人との交流ができればホームの生活に活気が出てくるように思われる(閉ざされた生活環境の改善)	家族やホームの職員だけの人間関係だけの生活から新しい人々との交流を待つ。	他のグループホームを訪問したり、合同の催しを行い、人との交流の機会を作る。	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目の を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。